

第 1 回男鹿市地域公共交通活性化協議会会議録

日時：平成 24 年 8 月 3 日（金） 午後 1 時 26 分

場所：男鹿市役所 3 階第一会議室

出席委員 (19人)

3号委員 佐藤 純一

4号委員 糸井 博 高橋 徹 菅原 喬

鎌田 栄光 山本次夫 畠山 千萬城

佐々木 崇成

5号委員 大高 誠悦 佐藤 利規

飯澤 信夫 佐々木 一義 石黒 茂雄

高 桑 繁 大渕 俊三 仲村 盛吉

6号委員 木村 一裕

7号委員 伊藤 正孝 伊藤 岩男

代理出席 (4人) (委員名) (代理者)

1号委員 佐々木 雅幸 保坂 浩昭

2号委員 高橋 邦武 後藤 文豪

4号委員 中村 和訓 小日山 宏

5号委員 齊藤 登 秋山 賢司

欠席委員 (2人)

4号委員 柴田 澄世

5号委員 石垣 禮之輔

出席事務局職員

① 総務企画部長 山本 春 司

② 総務企画課長 原 田 良 作

③ 総務企画課副主幹 吉 田 悟

第 1 回 男鹿市地域公共交通活性化協議会総会

日時：平成 2 4 年 8 月 3 日 午後 1 時 3 0 分

場所：男鹿市役所 3 階 第 1 会議室

次 第

1. 開 会

2. 議 事

- (1) 会長の選任について
- (2) 監事の選任について
- (3) 副会長の指名について
- (4) 幹事の指名について
- (5) 議事録署名委員の選任について
- (6) 平成 2 4 年度市単独運行バスの利用状況および地域説明会の概要について
- (7) 平成 2 3 年度 決算の認定について
- (8) 今後のスケジュール

3. 閉 会

午後 1 時 26 分開会

○事務局 原田総務企画課長（事務局長）

お疲れ様でございます。時間前でございますが、参加予定の皆様ご出席しておられますので、ただいまから、第 1 回男鹿市地域公共交通活性化協議会総会を開催してまいりたいと存じます。お手元に委嘱状はご配布してございます。これをもって交付式に代えさせて頂きたいと思っておりますので、どうかよろしくお願いいたします。

それでは、次にこのたび、新たに委員になられました皆様をご紹介します。

秋田地域振興局総務企画部長の高橋 様です。

高橋です。よろしくお願いいたします。

次に秋田地域振興局建設部企画調査課長の菅原 様です。

よろしくお願いいたします。

秋田県観光文化スポーツ部交通政策課の高橋 様でございますが、本日は代理で後藤様が出席しております。

後藤です。本日佐藤の代理で出席しております。よろしくお願いいたします。

男鹿警察署地域兼交通課長の佐藤 様でございます。

佐藤です。よろしくお願いいたします。

秋田中央交通株式会社営業部次長の佐々木 様でございます。

佐々木です。よろしくお願いいたします。

男鹿市 P T A 連合会会長の佐藤 様でございます。

佐藤です。よろしくお願いいたします。

男鹿市産業建設部建設課長の伊藤 様

伊藤です。よろしくお願いいたします。

以上このたび新たに委員になられた皆様であります。

次に、事務局の紹介をいたします。

男鹿市総務企画部の山本部長です。

山本です。よろしくお願いいたします。

同じく総務企画課の吉田副主幹でございます。

吉田です。よろしくお願いいたします。

私は総務企画部総務企画課長の原田です。よろしくお願いいたします。

本日の総会は、お手元の次第により進めさせていただきますが、議長が決まるまでの間、進行を努めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

座って説明します。

まず、議事の（１）「会長の選任について」でございますが、協議会設置要綱の第 5 条第 2 項では、「委員の互選により定める」となっております。この件について、いかが取り計らいいたしましょうか。

○伊藤委員

秋田大学の木村先生を推薦したいと思います。

○事務局 原田総務企画課長（事務局長）

ただいま、伊藤委員から、木村先生を推薦する声がありました。それでは、お諮りいたします。木村委員を会長とすることにご異議ございませんか。

～異議なしの声あり～

異議なしということですので、会長には木村委員を選任いたすことに決定いたしました。

ここからの議事進行につきましては、会議規則により会長が努めることとなっておりますので、木村会長よりお願いいたします。

○木村会長

それでは、議事を進めてまいります。(2)監事を選任についてでございます。

監事2名は、協議会規約第8条第2項で、委員の中から選任することになっております。

いかがいたしましょうか。

○伊藤委員

ハイヤー協会の糸井委員と商工会の畠山委員を推薦いたします。

○木村会長

糸井委員と畠山委員を推薦する声があったのですが、お諮りいたします。両名を監事とすることにご異議ございませんでしょうか。

～異議なしの声あり～

それでは、異議がないようですので、監事は、秋田県ハイヤー協会男鹿・南秋支部長の糸井委員と男鹿市商工会事務局長の畠山委員が選任されました。よろしくお願いいたします。

次の議事です。(3)副会長の指名についてでございます。副会長2名は本協議会設置要綱第5条第3項及び協議会規約第8条第2項により、会長が指名することになっております。そこで、私の方から指名させていただきます。男鹿中振興会会長の大高委員と副市長の伊藤委員の両名を副会長に指名させていただきます。よろしくお願いいたします。

次は(4)幹事の指名についてでございます。協議会規約第21条第2項により、幹事会は、第24条第2項の事務局長及び会長が指名する10名以内をもって組織することになっております。そこで、本日の会議資料に添付しております男鹿市公共交通活性化協議会幹事会名簿に掲載の方々を私の方から指名させていただきました。また、幹事長につきましては、第1回幹事会の席上で選任する予定としておりますのでよろしくお願いいたします。

次に、(5)議事録署名委員の選任についてお諮りいたします。協議会規約第20条第3項により2名の議事録署名委員を選任することとなっております。選任方法について、いかがいたしましょうか。

～事務局一任の声あり～

○事務局 原田総務企画課長（事務局長）

それでは、事務局からご提案申し上げます。秋田中央交通の佐々木委員と男鹿市建設課長の伊藤委員とを推薦いたしたいと思います。

○木村会長

事務局より佐々木委員と伊藤委員を推薦する声がありましたので、ここでお諮りいたします。両名を議事録署名委員とすることにご異議ございませんか。

～異議なしの声あり～

異議がないようですので、議事録署名委員は、佐々木委員と伊藤委員に決定いたしました。よろしく願いいたします。

それでは次に、(6)の「平成24年度市単独運行バスの利用状況および地域説明会の概要について」を事務局から説明願います。

○事務局 吉田

平成24年度市単独運行バスの利用状況および地域説明会の概要について、ご説明をいたします。恐れ入りますが座って説明させていただきます。

1 ページ目の資料1をお願いいたします。

現在市では、秋田中央交通㈱がバス路線の運行を廃止した①男鹿中線②五里合線③潟西北部線④入道崎線⑤戸賀加茂線⑥安全寺線について「男鹿市公共交通総合連携計画」に基づき、市が事業主体となり市内事業所へ運行を委託することによって、生活路線を確保しながら路線バスの代替運行し乗降を調査しております。

1 路線目の男鹿中線の乗車実績の表であります。表の左側は昨年平成23年4月～5月までの乗降実績、右側は平成24年4月～5月までの実績で比較できるように作成しております。

表の上は上り方向でありまして、浜間口中丁から羽立駅前までの上り便であり、一日一便定時定路路線で運行しており、下りは羽立駅から男鹿中の各地区へ帰る便であり、全て予約式運行で、一日5便ほど運行しております。各表の見方ですが、上り浜間口中丁を7:20に発車いたしまして、8:04に羽立駅に到着した便の乗降数は102名であり、これを一便あたりに換算しますと2.6名、運行便数は35便、そのうち4便が誰も乗っておらない便ということがあります。同じようにして右側にいきますと今年は少し時刻が変わっております。7:03 浜間口中丁発7:47 羽立駅着ということで乗降は92名となっており、一便あたりは2.2人、運行便数は35で空車は6という結果であります。

下りのデマンドでございますが、羽立駅前12:26発、牧野入口12:46着こちらは乗降数31名で一便当たり1.5名であり、その右の欄は運行予定便と運行便数との対比であります。この運行予定便数とは定時定路の便であった場合39便運行する予定だったという意味であり、そのうち21便が走りました。予約がなかった便数は18便でしたということを表しております。

右側は今年の実績であり若干時間は変わっておりますが、乗降数は24であり、一便当たり1.4でありまして、41便運行予定でありましたが、17便しか運行しませんでしたということになります。

全体的に乗降は減少しているという状態であることが見て取れると思います。

この路線につきましては、利用者の苦情はほとんどありません。朝の定時定路もスムーズに運行されております。

次は2ページをお願いします。五里合線であります。

表も見方は全く同じでございますが、五里合線の路線は中石から脇本駅までの経路であります。脇本駅においてＪＲや秋田中央交通が運行する船越線と連絡します。ここを運行する事業者は秋田中央トランスポート㈱であり、車両は大型バスであります。

この路線は脇本第2小学校区の児童の通学バスとしても利用されております。

乗降状況は横ばいないし微減ではありますが、多くの方に利用されている路線でありますし、定期券での利用も唯一一般の市民も利用しているという状況であります。

上の上り便で一番大きい利用で中石発 7:23 発、脇本駅着 8:06 の便が2か月間で700名利用されてございまして、一便当たり11.5名ということでございまして、定時定路でありますので、61便の61便空車の便数は10ということであります。今年の実績としましては614ということで、少なくなっておるということでございます。大きな変動は見られない路線で、住民皆様にも喜ばれております。

3ページをお願いします。潟西北部線であります。

この路線は下五明光から若美総合支所までの経路である。若美総合支所以南は中央交通が運行している路線に連絡するようにダイヤ設定をしておる路線であります。

この路線を運行する事業者は秋田観光バス株式会社であり、車両はマイクロバスとジャンボタクシーでございます。

この路線は一昨年度秋田中央交通に運行を委託いたしまして、潟西南部線と乗り継ぎがないように実証実験をしておりました。しかしながら、運行実績が伸び悩むという状況で、昨年度ジャンボタクシーとマイクロバスに車両を変更して運行しておりました。

その運行実績によりまして今年4月からはデマンド方式による運行を実施しております。

表の見方は同じであります。右側のデマンドと書かれている便は、予約いわゆるデマンド便ということであり、なにも書かれてない便については定時定路ということで運行しております。

表の右側をご覧になっていただきたいのですけれど、2か月間の運行実績と運行予定便数の対比表であります。61便に対して61便であります。1便目は空車が15、7:23 下五明光発 7:51 若美総合支所着は野石小学校に通うお子さんが利用されるので、この便は乗降は多いということでございます。7.1名が平均で利用しておりますのでマイクロバスを配車しております。61分の0という便もございます。ご利用が全くなかったという状況でございます。

4ページをお願いします。こちらは入道崎線であります。この路線は入道崎から北磯を經由して湯本駐在所までの経路であります。

この路線は昨年度から委託運行をしております。昨年度は定時定路で運行しておりましたが、今年度からは予約便で先ほどの潟西北部線と同様に2便のみ定時定路あとは予約便に切り替えてございます。

この路線を運行する事業者は船川タクシー株式会社であり、運行車両はジャンボタクシーであります。時間帯によって利用の偏りが見られますが、全体的に低密な乗車実態であります。

やはり朝出かけて行って夕方帰るという形で限られた利用形態であります。

5 ページをお願いします。戸賀加茂線であります。この路線は湯本駐在所から男鹿水族館を経由して加茂までの経路であります。

昨年度は戸賀線と加茂線の2路線を設定し運行しておりました。加茂線、昨年度は小型タクシーでデマンド運行しており、男鹿水族館までは乗り換ええない路線設定で中央交通に委託して委託運行便として大型バスを運行しておりました。

今年度は2つの路線を1つにして乗り換えが最小限になるように配慮した形でのデマンドということで始めてございます。こちらの方も表の見方は一緒でございまして、上りの2便のみ定時定路で残りはデマンドという形で、ここの路線は入道崎に比べて乗降は多いという状況であります。

6 ページをお願いします。安全寺線の実績表であります。

安全寺線の路線は安全寺上丁から西水口を経由して北浦市民センターまでの経路でございます。北浦市民センターで秋田中央交通の男鹿北線に乗り継ぎができるようにダイヤ編成をしております。この路線を運行する事業者は秋田観光バス(株)であります。この路線も時間帯によって多い少ないがはっきりしております。この路線は男鹿北中学校、北陽小学校へ通う児童生徒が利用されており、それによって乗降数を引き上げているということでございます。利用は全体的に横ばいという状態ではありますが、ご利用されている方が多いという路線であります。

7 ページをお願いします。現在秋田中央交通が運行している路線の乗降を去る23年4月の1週間、平成24年5月の1週間調査したものであります。これは平成21年3月策定した「男鹿市公共交通総合連携計画」のある幹線部分の状況を把握するために毎年実施してございます。

男鹿北線の路線は男鹿みなと市民病院から湯本駐在所からまででありまして、非常に長い経路であります。表の見方としては同じで左半分は昨年4月、右側半分は今年の5月であります。

今年の4月から上り3便、下り4便が減便となっております。大きな減便ではございましたが、これによって空車の便数はなくなっているという状況でございます。

乗車の状況は時間帯によっての偏りはあるが、船川方面の医療機関や買い物等に利用されていて、生活の足であるといえます。

8 ページをお願いします。こちらは潟西線の乗降実績表でございます。潟西線は若美総合支所から船越駅までの経路でございます。旧払戸中学校区のお子さんが男鹿東中学校に通学するという通学用の便もでございます。やはり時間帯によっても非常にバラつきがある路線でございます。

今年4月から上り4便、下り3便が減便と比較的大きな減便でございました。減便によって実際には空車の便はなくなったわけではあります、全体的に低密でありますし、男鹿東中学校通学用バスというのは平成24年5月のダイヤ表によりますと、※がついている若美総合支所発7:20、船越駅着7:41 この便でございまして、昨年度のものとは比べますと20数名落ちているということで、やはり子供の数が少なくなったことによると思われます。

9 ページをお願いします。こちらは船越線の実績表でございます。船越線は船越駅から男鹿みなと市民病院までの経路でございます。先ほどの潟西線と同じように男鹿東中学校へ通うお子さんが乗っておられるという路線でございます。

こちらを上り 5 便、下り 4 便の減便ということでござまして、乗降数は少ないという形になってございます。

10 ページをお願いします。こちらは男鹿南線の状況でございます。男鹿南線の路線は門前から男鹿みなと市民病院までの経路でございまして、この路線は小中学校児童、生徒の通学時間帯を運行する便のほか。男鹿海洋高校の通学時間帯の便も運行してございます。

こちらの路線も、上り 1 便、下り 2 便の減便ということでございます。さきほどの船越線よりは乗降数も多い状態ではありますが、減少しているという状況には変わりありません。

説明が長くなってすみませんが、11 ページの方もご説明させていただきます。

11 ページの平成 24 年度路線バスに関する地域説明会結果表ということで、ご説明いたします。こちらは去る 7 月 5 日から 10 日までの間、4 月から予約式（デマンド運行）を実施している路線の沿線の地域を対象とした説明会で実際のデマンド運行に対しての意見や要望などをまとめた表であります。表の見方といたしまして、日付が一番左にあります。若美の中央地区でありましたが、参加者数は 7 名でございました。主な意見要望とそれに対する回答でございます。若美の中央地区に行ったときに一番言われたことは、予約制度に対する認識がバラバラであったことであります。予約している人しか乗れないのかという質問がございました。市としましては予約がなくても乗れると説明していたところでありましたが、やはりそういうことが徹底できていなかった状況でございましたので受託事業へ再確認したところでございます。町内会長さんに予約の仕方とか、方法をまとめたものを渡してほしい、そういう要望がございましたので対応したいとお答えしてございます。やはり予約に慣れないということで、予約できないから躊躇して使えないのではないかという意見もございました。同じ 7 月 6 日の若美の北部地区でございます。下の段でございますが、こちらも予約に関しての意見、それから要望等が集中してございました。やはりその使う人が分からなかったということがありまして、乗車できなかったこともあったということがございまして、きちっとしたかたちで説明させていただきますと回答しております。また、1 時間前にお電話してくださいということにしてありますが、50 分前に電話したら断られたということもありましたので、そちらの方も柔軟に対応していただけるように、お願いしたところでございます。ただ長い路線でして事業者の事務所から遠い距離にありますので、冬期間になりますと、予約してもそこまで到達するまでに時間がかかるということもありますので、そこらへんもご理解をいただきながら利用してほしいということをお話ししてございます。説明会にはほとんど高齢者が参加されましたが携帯電話を所持していないとか、あるいは公衆電話がないなどという意見もいただいております。あとは買い物に行く際に午前 9 時代のバスを使っていたけども減便されてなくなったとこれをぜひ復活してほしいというそういう要望もありました。9 時で行って帰り 1 時代のバスで帰ってきていたけどそれがなくなって困っているという意見がございました。一便でもいいので直通のバスを運行してほしいという意見もでております。資料

12ページをお願いします。7月5日入道崎、7月10日西黒沢地区こちらは入道崎が35名、西黒沢は22名の方が説明会に参加をされていらっしゃいました。やはり話題の中心は予約制でありました。予約しているときに名前をいった人だけしか乗車できないといわれたとか、男鹿北線に乗り継いで羽立駅に行ったけれどJRとの連絡が悪くなって不便になったとか、やはり予約して配車できるまでの時間がもう少し短くできないものなのかとか、電話以外の予約方法はないのかということでした。また、西黒沢地区におきましても、2回ほど乗客が多くて乗り切れないことがあったということ、さきほどと同様に帰りの便を一番予約なしで運行する便を設定できないかという要望が上がってきておりました。7月9日は戸賀地区と加茂青砂地区でございました。戸賀は25名の方加茂青砂は17名の方が参加をされてございました。これはいろんな意見がございまして、秋田中央交通㈱の男鹿北線の件ですが、お昼に男鹿みなと市民病院を発車するバスが小さくて立っている人が多いので、大きなバスにしてほしいという意見が出ておりましたし、利用者が多い便は定時定路にしてほしいという意見、あとは男鹿北線沿線の方がよく買い物をするイトクスーパーの前の道を渡るのに危険なので、スムーズに乗り降りができるような路線編成ができないものなのかという意見が出ておりました。また、加茂青砂地区においてはバス発着所であるお店の前で停車していると、エンジンがうるさいとかそういう細かいものもありましたが、朝は予約なくて定時定路でよいのだから、帰りも1便か2便を定時定路にしてほしいということでした。あとは予約の形態を明らかにしてほしい、運転手によって「予約がなくても乗れる」という人もいたし、「名前を言わなければ乗せない」という人もいたので、それは足並みを揃えてほしいということでした。あと最後の意見としましては、加茂地区は今年から料金が安くなった関係もございましたので、喜んでおりました。これら説明会の意見を踏まえまして当面の対応策として2つほど考えてございます。ひとつは事業者さんとすでに調整は行っておりますが、予約便の利用方法を整理した形で地元で周知して知らない人がいないようにしていきたいということと、下り便の定時定路の設定ということで、資料恐れ入ります前に戻りますが、3ページをお願いいたします。潟西北部線実績表の右の下から2段目の黒い線で囲んでいる便、若美総合支所発 16:58、下五明光着 17:26 こちらを定時定路というかたちでお願いしたいというふうに思います。4ページの下の方でございしますが、上から4段目デマンドと書いてある湯本駐在所発 13:16、入道崎着 13:26 この便を定時定路、次の5ページ、右下の上から3段目の湯本駐在所発 13:16、加茂着 13:42 こちらの便を定時定路ということでできればお願いしたいということで調整をしているところでございます。すぐに変更はできないので、広報紙等に掲載し、周知を図ったうえで1便を定時定路便に変更したいと考えておることでございます。以上で説明を終了いたします。よろしくお願いいたします。

○木村会長

はい、ありがとうございました。

ただいま、「平成24年度市単独運行バスの利用状況および地域説明会の概要について」は、事務局から説明がありましたが、質問や意見はございませんでしょうか。

○鎌田委員

定時定路に変更するのはいつ頃になるでしょうか。

○事務局 吉田副主幹

今この協議会を通過いたしますと、9月広報に掲載しまして最速でも10月からであると考えております。

○木村会長

他に意見はございますか。

○仲村委員

老人クラブの仲村でございます。老人クラブでは8つの地区の老人クラブ連合会がありまして、その地区に一カ所ずつ一年間に色々な活動を現地に出向いてやっております。たまたま年間計画で昨日は若美コミセンで、今日は戸賀の公民館で集まりがあったわけですが、只今、吉田さんの方から説明があった説明会の話ですが、私が行ったときに何の話か分からなかったけれど、先ほどから説明を聞いていると、昨日話題になっていたのがこのバスの話のようでした。まず一口で言えば不便であるということです。予約便や定時定路便ということがよく理解されていない。これを見ますと、確認するとか検討するとか再度周知するとかになっているが、スムーズに進行を早くしないと利用者は増えません。地域の人たちは特に高齢者はこのことに関して利用できない、不便だという話をしております。行政の方では大変難儀して色々やってますよね、それは分かりますけど、なかなか利用する方から見ますと分かっていません。この間もバスに乗ろうとしたら予約がないからだめだとか断られたという話をしていました。本当かどうか分かりませんが発言していましたよ。この中には似たようなこと書いていますね。それからやはり料金は高いと、最後の方で加茂青砂は200円で安くなったよと、前は1200くらいで今度は1030円になったっていいましたか。確かに200円安くなったことは分かるけれどもそれから乗ってないという人もいます。高い、利用がしにくいと全体的に申し上げませんが、やはり乗り換えなしで目的地まで行ける足がほしいなということ、戸賀であれ宮沢であれ乗り換えてますよね。若美の方であれば私たち宮沢からきて角間崎で乗り換えて船越に来る、そうなれば船川へ行くよりも例えば高齢者、病院ことを話しますと、船越へ行けば男鹿に行かないでもう秋田の病院に行くという話になってくるようです。4年前からみなと市民病院の健康教室を開設していて、なるべく地元の病院を利用するということをいっているが、不便さを大分感じています。したがって要望とすれば他市では非常に安いバス走っているようですが、男鹿市でもできないものでしょうか。これは財政上の問題があると思いますが、高齢者にとっては最高にありがたく喜ばれておりますのでその点ご検討していただければありがたいと思います。6ページとか7ページとか実績になっておりますけれども、乗降数は分かるんですけど、乗車率はどれくらいになっているでしょうか。その辺最後に教えていただければありがたいと思います。

○事務局 吉田副主幹

ご質問に答えさせていただきます。私どももこの説明会に行きまして高齢者が予約に対して抵抗があるということを感じてまいりました。男鹿市の場合立地条件が循環するという形ではなく、

放射状の路線形態であり、事業者事務所から始発点、終点が遠いというところで予約をしてもなかなかその地点まで到達するのに時間がかかってしまうことがあるなということが一番感じたところであります。料金が低いという意見は説明会の中ではありませんでしたが、予約に対する不便さと乗り換えのことはどこに行っても言われております。やはりその不便さというものをもう少し解消するような検討というのを、していかなければいけないと感じておるところでございます。

ワンコインバスについてでございますが、これは秋田市で高齢者対策の一環としまして実施されている施策であります。男鹿市でも高齢者の施策のひとつとして割引制度のようなものを検討すべきであると考えております。乗車率の件でございますが、こちらに出しております一便当たりの乗車というのは、乗車数を便数で割ったということで一便当たりどれくらい乗っているかというもののさしで通常こういうものを指し示す指標といたしましては、平均乗車密度というものがございしますが、それはあくまでも料金ベースでの比較になってしまいますから、何人乗ってどれくらい効率的な乗車ができたかということで一便当たりの乗車という考え方で調整してございます。

○仲村委員

いいですか。

○木村会長

どうぞ。

○仲村委員

一便当たりは分かりますが、いくなれば、45 人の定員のバスでございします。これに 45 人乗れば 100 パーセントですが、それが 25 人乗れば約 50 パーセントです。私はそういうことを言ったわけだけれども、なんかちょっと違うような回答だったようです。

もうひとつ、今日実は戸賀に行きましたが、今日参加者が 12 名で少し足りないね。と言ったところ、今日は何某病院の迎えに来る日で 7、8 人乗っていきましてということで人数が足りなくなりましたという実績があるわけです。こういう交通機関が便利でないから迎えに来るバスがあれば乗っていくんだそうです。こういうことを考えれば、男鹿市では現在高齢者率が 33 パーセントか 4 パーセントとなっているわけですからこういうところを考慮してやっていただければありがたいと思います。

それから、今日この委員の中に東日本さんもおいでですよ、私去年の会でも申し上げていたんですけど、資料の 12 ページにもありますけれども、12 ページの回答の上から 3 つ目のところにありますけれども、「ダイヤ編成の際に考慮する。」これ去年私ね、男鹿市から首都圏に行くときに多くの人は新幹線を利用します。飛行機で行く方もいますけれども。新幹線を利用しますと男鹿から行く電車が到着する直前に新幹線が発車しています。そして、約一時間くらい待つことになります。逆に着いたときも直前に発車しています。昨年も JR さんの方で考慮してくれませんかをお願いしておりましたが、ぜひ今年もお願いしたいと思います。ご要望でございます。

○事務局 原田課長

私からバスの利用率のことでお答えいたします。定員が 10 名のバスに 5 名の乗車で 50 パー

セントというのは分かりやすいですけども、一日単位であればそれでできます。ただ、この日少なからうということで小さな車を配車することは普通できないです。1か月なら1か月の長いスパンの中でこの便はどれくらい乗るのかなということで配車しているというのが今の実態な訳です。例えばこの入道崎線に関しては入道崎から温泉までしか走らない短い便な訳ですけども、ジャンボタクシーを運行しております。定員は10名であります。私も西黒沢の説明会に伺いましたら、定員をオーバーしたケースがあると、湯本駐在所のところで定員をオーバーして乗れなかったケースがあるということをおっしゃいました。そのほかの時はどうかという運行しないケースもあると、非常にバラつきがあります。ということでこの一便当たりの人数というとはぼ、2か月ベースでいくとはぼ利用率と見なせる。例えば10名定員とすると、1.7人乗ったということは17パーセントという判断ができると思います。いずれにしても定員と密接に関係しますので、他の便はそういうわけにはいきませんが、バスの大きさと比べるとそういうことが出てくると思います。使いやすさについては説明会に行きますとこの話題は必ず出てまいります。要は自分の行きたいところへは直行で行きたいという意見で、すごくわかるんですけど、この場合利用者の数にもよりますので、必ずしもそのご要望に満足にお応えできていないというのが今の実態ということは担当でも把握しております。ただ、そこは最大限努力してこの便だけはなんとかしようと、この時間帯だけはなんとかしようということで今やっているところでございます。できれば、市からの要望もあるんですけど、不便だから乗らない、乗らないから減らすという悪循環はそろそろ断ち切りたいと思っております。できれば、ご利用いただいたうえでもう少しこっちの方がいいのかなというような方向でもっていければ、男鹿市の公共交通は若干でも利用者が増えてくるとは思います。私2年前も同じ仕事をしておりました。その際は地域回って説明しても、ほぼ地域の役員の方とかどちらかというと普段バスに乗らない方が来ておられていたんですけど、このたび色々説明会に回りましたら、実際に乗っている方のご意見が増えてきております。乗っている方がご自分の要望とかそういったものをくみ上げながらすすめていきたいと考えております。あと吉田がいておりませんがアンケート調査、市民全体的なものではなく、乗っている方がどう思っているか、実際ご利用している方がどう風な利用形態がいいのか、乗降客向けの調査をこれからしていきたいと考えております。よりご利用いただけるような仕組みとは何かを引き続き考えていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

○事務局 吉田副主幹

ご質問の3点目ですが、JRの首都圏行きのダイヤの件でございまして、毎年県の方からJRの要望調査が上がってきております。やはり新幹線こまちとの接続が悪いということで、毎年具体的なこの便にこのように合わせてくださいというようにお願いはしてございます。ダイヤ形態をみると奥羽線の方へ合っているという現状でございまして、引き続き要望はしていきたいと考えております。

○木村会長

そのほかご質問やご意見はございませんか。

一時間前に予約をするというのは各地域によって違うのでしょうか。

○事務局 吉田副主幹

厳密に行きますと一番、形態から行きますと遠いのは入道崎線、潟西北部線がそれに当てはまるんですけど、1時間前というのはその事業者が安全にそこまで到達するという時間でありまして、ということで1時間前ということをお願いしております。短くするということはそれだけ危険度が高まることで、現実の状況を聞きますと、1時間を切っても配車しているということでありまして。ただ、今はこういう天候でいいんですが、アイスバーンになった時にそれが原因で事故が起きたりするとこれはこれで困りますので、予約はなるべく早く、早いのはいくら早くてもいいですということをお願いしております。そういう状況です。

○木村会長

事業者さんが安全を配慮するということは分かりますけれども、それが利用者する側からすれば、この前はできたのにとか、他の地域とは違うのかとか、その辺のところが明確でないと何となく、本来の利用者まで影響がでてくるので、そこは周知していくんですね。

○事務局 吉田副主幹

はい。

○木村会長

その他ご質問ございますか。

○大渕委員

11ページの下の方で「船越駅の公衆電話、使用できない。壊れている。」とありますが、回答は「市からJRに連絡する」となっていますが、JRの方は仕事しているので、市からNTTの方へ直接連絡すればすぐに対応してくれるはずであるので、直接かけた方がよくないでしょうか。これはNTTとしてはJRさんから場所をお借りしているだけで今駅の仕事をしている方にそこまで手間をとらせるのはいかなもののでしょうか。

○事務局 吉田副主幹

これは実は住民の方から直接要望がありまして、すぐに駅の方へ問い合わせしまして直接NTTに連絡すれば対応してくれることもわかりませんでしたので、JRの方へいけば対応して下さるだろうと思い、男鹿駅の方へ連絡しましたら駅の方が対処いたしますということでした。

○仲村委員

今の話に関連して若美でもいわれたが、壊れているというわけです。ここに書いているからあなるほどと、結果どうなんですか。1か月なろうとしています。7月6日で今日8月3日です。その結果どうなっていますか。昨日聞かれました。

○糸井委員

今直っています。先日かかってきましたから。

○木村会長

そのほかございますか。

○大渕委員

バスに直接関係ないですけど、JRの方がおられますので私秋田の病院からいつも昼ころ帰

るのですが、ちょうどその日低気圧の影響で汽車が連続して遅れて待合室で待っておりますと大体一時間くらいで次は何時に発車しますよというが、また待っていれば次々伸びるものですからやむを得ず本線に乗って追分まで来て、追分からハイヤーで帰って来たことがありました。状況によって男鹿線のバスがないということはかなり厳しいということです。なにかあれば秋田からタクシーで来るか、誰か知り合いの人を探して乗ってくるなど非常に厳しい状況である。

○小日山（代理委員）

J Rの小日山です。貴重なご意見をいただきありがとうございます。
列車が遅れた場合、弊社としては正確な情報を迅速に提供すよう努めているところでありますが、気候によって変化することもあり、情報が延び延びになったりまた、変わったりということがあったかと思います。極力お客様が迷わないよう、正確な情報を提供すよう駅改札に情報の掲示や、案内放送などで対応しているところでございます。代替輸送として、バス代行やタクシー代行も考えているわけですが、突発的なことでありますので、運転手やバス自体を確保することが難しい状況もあります。また、状況によっては、必ずしもバス代行等ができないこともありますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

○木村会長

そのほかご意見等はございませんでしょうか。

それでは、ご意見がなければ「平成 24 年度市単独運行バスの利用状況および地域説明会の概要について」この案で認定してよいかお諮りいたします。ご異議ございませんでしょうか。

～異議なしの声あり～

ご異議がないようですので、「平成 24 年度市単独運行バスの利用状況および地域説明会の概要について」は、この案で認定いたしました。

次に、(7)の平成 23 年度決算の認定について、事務局から説明よろしいでしょうか。

○事務局 吉田副主幹

それでは(7)平成 23 年度の決算の認定についてご説明させていただきます。14 ページ、資料 4 をお願いいたします。平成 23 年度男鹿市地域公共交通活性化協議会の決算書でございます。上半分が収入の部、下半分が支出の部ということになってございます。収入の内訳といたしましては男鹿市の負担金で 50 万円、預金利息が 64 円でございます。

また、繰越金が 133,318 円でございます。

下の段でございしますが、支出の部でございます。運営費が会議費としまして、報償費が 340,000 円、旅費が 64,880 円、需用費は、41,229 円でございます。

報償費といたしましては、総会及び幹事会の出務報償費、旅費は費用弁償、需用費は会議に係る資料の印刷費等であります。(2)事務費でございしますが、需用費が 98,344 円でございます。こちらは広報掲載費あるいは広告等にかかる費用でございます。役務費の 8,000 円は切手等の郵送費

ということでございます。収入の部の決算額が 633,382 円でございます。支出の部の決算額が 552,453 円でございます。歳入から歳出を引きました分 80,929 円は、次年度への繰越金ということでございます。よろしくお願いいたします。

○木村会長

ただいま事務局から平成 23 年度決算の認定について説明がありましたが、監事の畠山委員から監査報告をお願いいたします。

○畠山委員

それでは私のほうから監査報告をいたします。

去る 5 月 30 日の男鹿市地域公共交通活性化協議会の平成 23 年度の会計執行状況を監査したところ、関係帳簿、通帳、現金とも適正に管理され予算執行されておりましたので、ご報告いたします。監査委員 糸井博 畠山千鳥城 以上です。

○木村会長

ありがとうございました。

ただいまの報告について、何か質問やご意見はございませんでしょうか。

それでは、平成 23 年度決算の認定については本案のとおり認定してよいかお諮りいたします。ご異議ございませんか。

～異議なしの声あり～

ご異議がないようですので、平成 23 年度決算の認定については本案のとおり認定されました。

それでは議事の(8)でございます。今後のスケジュールについて、事務局から説明願います。

○事務局 吉田副主幹

それでは議事 8 番の今後のスケジュールにつきましてご説明いたします。16 ページの資料 5 をお願いいたします。今後のスケジュールということで 4 月からのスケジュールということで記載してございます。4 月 1 日から運行が開始されております。今年は 6 路線ということで、開始をしてございます。さきほど、乗降調査の結果ということで、幹線の結果をご紹介したところでございますが、5 月の末に調査を実施してございます。

7 月の下旬でございますが、先ほど一覧表になってございます潟西北部線、入道崎線、戸賀加茂線沿線の地域説明会を開催してございます。様々な意見をいただいております。

本日の活性化協議会総会は第 1 回で 8 月の下旬でございます。この後これにはありませんが、アンケート調査を実施して、乗っている方の意見をとりまとめまして、10 月の庁内検討会ということで、来年度の運行形態について検討していきたいと考えております。検討会を経まして、幹事会そして 11 月には総会のように予定しております。1 月には 25 年度の委託事業者を決定いたしまして、幹事会、総会に諮ります。2 月には新しいダイヤ改正を含めまして地域説明会を開催

したいと考えております。よろしくお願いいたします。

○木村会長

はい、ありがとうございました。

ただいま、事務局から今後のスケジュールについて説明がありましたが、ご質問やご意見はございませんでしょうか。

それでは、今後のスケジュールについて本案のとおり了承してよいとお諮りいたします。ご異議ございませんか。

～異議なしの声あり～

ご異議がないようですので、今後のスケジュールについては本案のとおり認定いたしました。ありがとうございました。

ほかに何かございませんでしょうか。

ないようですので、それでは、ここで議事を終了いたします。どうもありがとうございました。

午後 2 時 43 分閉会

会議の次第を記載し、これを相違ないことを証明するためにここに署名する。

平成 2 4 年 8 月 2 9 日

会 長 木村一裕

委 員 佐々木崇成

委 員 伊藤岩男